【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成30年9月13日(2018.9.13)

【公開番号】特開2017-104570(P2017-104570A)
【公開日】平成29年6月15日(2017.6.15)
【年通号数】公開・登録公報2017-022
【出願番号】特願2017-3556(P2017-3556)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成30年8月3日(2018.8.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明の遊技機は、遊技者により遊技が行われている遊技実行状態と、遊技者による遊技が行われていない待機状態と、に遷移可能である遊技機であり、音声を出力する音声出力手段（音声出力装置１３２）と、遊技者の入力操作に基づいて、前記音声出力手段により出力される音声の音量を切り替える音量切替手段（サブＣＰＵ３４０ａ、画像制御基板３５０）と、前記遊技実行状態において、前記音声出力手段から出力される音声の音量の切り替えに関する演出を実行する制御手段（サブＣＰＵ３４０ａ、画像制御基板３５０）と、を備え、前記音声切替手段は、遊技者が任意に音声を設定する第１設定手段を構成するとともに、前記音声切替手段により設定された音量をリセットして音量を設定する第２設定手段を具備した遊技機である。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技者により遊技が行われている遊技実行状態と、遊技者による遊技が行われていない待機状態と、に遷移可能である遊技機において、
音声を出力する音声出力手段と、
遊技者の入力操作に基づいて、前記音声出力手段により出力される音声の音量を切り替える音量切替手段と、
前記遊技実行状態において、前記音声出力手段から出力される音声の音量の切り替えに関する演出を実行する制御手段と、を備え、前記音声切替手段は、遊技者が任意に音声を設定する第１設定手段を構成するとともに、前記音声切替手段により設定された音量をリセットして音量を設定する第２設定手段を具備したことを特徴とする遊技機。